

市立保育園を取り巻く課題の協議の流れ

- (1) 5つの課題（役割実現のための課題の対応案を協議するうえでの前提）の状況把握
それぞれの課題の状況を各種資料を基に説明します
- (2) 課題の洗い出し
4つの役割の実現に向けて必要な取り組みや課題の洗い出しを行います。（資料 2 9 参照）
- (3) 課題への対応案の協議
(2)で洗い出しを行った必要な取り組みや課題への対応策やアイデアについて協議を行う

【協議のフレーム】

5つの課題（役割実現に向けた課題を協議する際の前提）	制約性	提出資料の内容
①子どもの安全を第一に考え、園舎老朽化が進む施設に対して今から対応を定めるべきであること	△	・老朽化の状況、建て替え等に要する経費試算 等
②今後人口減少が見込まれる中、待機児童の減少を踏まえ、市内保育定員の適正化を図る必要があること	○	・保育施設の入所状況、欠員補償の歳出状況等
③市全体のさらなる保育サービスの拡充や保育の質の維持・向上のため、さらなる予算と人材が必要であること	○	・職員配置、保育サービス拡充のための必要人員 等
④公立保育園の施設の建て替え及び運営経費については、国や東京都からの財政援助がなく、公費については全額市負担であること	◎	・市の財政状況、児童福祉費の状況 等
⑤市役所全体としての職員数の問題、また人件費の問題など、自治体経営という視点において、保育園5園を直営で維持し続けることは難しいこと	◎	

市立保育園の4つの役割	必要な取組・対応の内容	実施のための課題	対応策・アイデア
①地域の保育の質の維持・向上を促す役割			
②難度の高い保育を率先して担う役割			
③公立保育園の機能を活かして在宅子育て家庭を支援する役割			
④緊急時に地域の子どもと保育を守る役割			

資料 2 9 参照